

## 近畿本部経営工学部会 2021年8月度 定例会(研修会) 議事録

日時	2021年8月21日(土) 13:30~15:30		
場所	ZOOMを使用したWEB開催		
出席者	31名		
事前配信資料	① 研修会議事進行表	② 経営工学部会出席者名簿	
	③ 研修会資料	④ WEB参加でのお願い・連絡事項	
事後配信資料	CPD行事参加票		

## 1. 開会挨拶(荒井部会長)(13:30~13:40)

コロナ禍が収まらずWEB開催が普通になってきた。WEB開催によって本部間の垣根がなくなり、他本部から知識・情報を得ることが容易になった。反面、地域本部には、地域色の濃い企画や、対面ならではの「空気感の共有」など、WEBの欠点を補う企画が望まれるようになった。そこで、来年度運用開始を目途にして部会運営見直しの議論を始めた。近畿本部経営工学部会ならではの知恵を絞っていききたい。また皆様のご意見も大きな力になるので、ぜひお願いしたい。

## 2. 初参加者紹介 村迫和博 技術士(電気電子部門)、吉川武志 技術士(経営工学部門)


## 3. 研修会(講演)

- ・ 演題 「国際エンジニア連合における技術者資格要件と技術士制度について」
- ・ 講師 坂井剛太郎 技術士(経営工学、建設、総合技術監理)株式会社 竹中工務店 専門役
- ・ 概要

理事・国際委員長2期4年の知見を通して、現在の技術士制度の置かれている状況と今後の可能性について解説すると共に、経営工学部門における技術士のあり方を参加者と一緒に考えたい。

- 1) 技術士がかかわる国際機関(IEA、FEIAP、他)
- 2) IEA(国際エンジニアリング連合)における技術者資格
- 3) 文科省技術士分科会における制度改革の議論
- 4) 国際エンジニア資格の概要と現状
- 5) これからの「技術士」はどうあるべきか(問題提起)

(技術者の3タイプ(Engineer, Technologist, Technician)と技術士の関係)



2-1. IEAにおける3つの技術者資格


Independent Practice Competence	International Professional Engineer Agreement	APEC Engineer Agreement	International Engineering Technologist Agreement
	Washington Accord		Dublin Accord
Graduate Level Education Foundation	Professional Engineer	Engineering Technologist	Engineering Technician

IEA-History <https://www.ieaagreements.org/assets/Uploads/Documents/History/IEA-History-1.1-Final.pdf>

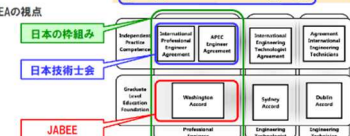
2. IEA(国際エンジニアリング連合)における技術者資格 - 19 -

3-2. 技術士とIEAの視点の乖離

➢ 技術士の視点



➢ IEAの視点



3. 文部科学省の技術士分科会における制度改革の議論 - 37 -

#### 4. 部会活動報告及び諸連絡事項

##### ① 統括本部関連

- ・ CPD講演会の開催方式の統一ルール：視聴申込本人限、招待メール転送不可、無許可の撮影録音不可、等の内容。各会員宛てにメールが来ているのでご確認されたし。
- ・ CPD行事「新申込システム」運用開始。当部会での活用は幹事会で検討した後に案内する予定。

##### ② 近畿本部関連

- ・ WEB 会議ツール「ZOOM」は近畿本部のIDを利用してきたが、経営工学部会で保有する。9月に購入する。費用20,000円／年は、近畿本部補助15,000円+当部会5000円で負担する。
- ・ 第2次合格者祝賀会（8/7土）  
急遽WEB開催になったため、ポスターセッションは中止となり、部会PRはWEBで配信した。

##### ③ 部会関連

- ・ 状況変化を踏まえて部会運営の見直し検討を開始（アイデア・提案大歓迎です）。  
（切り口 位置づけ：出席者の参画を深める、事前準備軽減、経営工学の網羅性の確保。  
ポイント：WEB併用時代の近畿本部色、経営工学的な課題解決の意見交換、等）

##### ④ 今後の部会関連活動

- 10/16（土） 経営工学部会10月度部会+研修（講師 峯尾技術士）
- 10/30-31（土-日）日韓技術士交流会義（仙台市）
- 11/25-27（木-土）日本技術士会全国大会（Web参加中心。26日に経営工学専門部会）
- 11/28（日） 技術士第1次試験
- 12/8-9（水-木） 近畿本部大阪勧業展への出展（大阪商工会議所主催）
- 12/18（土） 経営工学部会12月度部会+研修（講師 北川技術士）

#### 5. その他ご意見

##### ① 質問：医学・薬学はなぜ技術士にないのか。コロナ問題に貢献できたのでは。（妹尾技術士）

回答：当初工学技術院案の学歴要件としては「…工学、理学、農学、医学又は薬学に関する課程を修めて卒業した後、…」とされていたが、昭和32年の制定時には明確になり、技術士法条文も試験は「…理科系統の正規の過程を修めて卒業した者」が「理学、工学、農学、その他総理府令で定める自然科学に属する科学の部門ごとに行う。」となっている。国会審議の過程で、名称占有という法案に対して業務占有の資格を比較する中で、既存資格で業務占有とされている分野（医学、薬学、建築）が除外されたようである。当時の「コンサルティング・エンジニア」という領域とは異なると判断されたのではないかと考える。（坂井技術士：例会終了後日の補足説明を含む）

##### ② 統括本部の技術士活性化委員会の開催計画中のイベント（間島技術士）

- ・ 「知的財産」経産省と連携したイベント（来年初め）
- ・ 「環境問題」環境省と連携したイベント
- ・ 「地域の低炭素に関する研修会」も検討中

WEB開催のCPDイベントは満員になりやすい。案内が来たら速やかに申込みされたし。

#### 6. 閉会挨拶（北川）

講演の中の「部門分けのないEngineer像」を考える上で、多くの部門の連携を支援できる経営工学の役割は大きい。この議論は続けていきたいと感じた（坂井先生ありがとうございました）。

（文責：北川昭浩）